

19 CQ版3694対応ベースボードの製作

『トランジスタ技術』2004年4月号付録H8/3694 CPUボード(MB-H8)は、3694が3664とコンパチのため、本書で作成したプログラムがそのまま使用できます。そこで、CQ版3694対応のベースボードを作りました。最初に、汎用穴あきボード(Takasu IC-701-62)で組んだのが**写真29**です。写真でわかるように、配線が込み入っているのが、ハンダ付けが大変です。そのため、新たにプリント基板を起こしてみました。これが**写真30**に示すTERA6です。**図35**が回路図です。

TERA2とTERA6はピンコンパチではありません。回路もすこし改良されています。**表8**に比較表を示します。基本的には、本書のこれまでの説明で出てくる端子番号を、この表で置き換えれば、適用できます。例えば、TERA2のCN2A-9(P80)は、TERA6ではCN2A-5と読み替えてください。

また、3694の動作周波数は20 MHzで、3664は

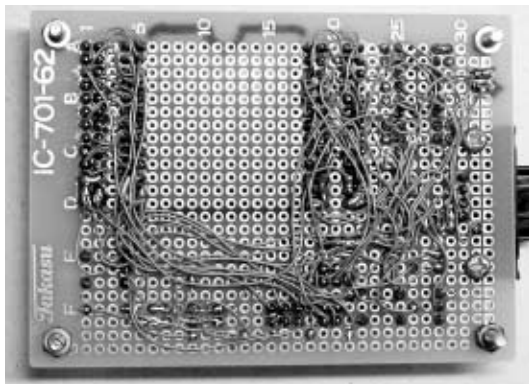
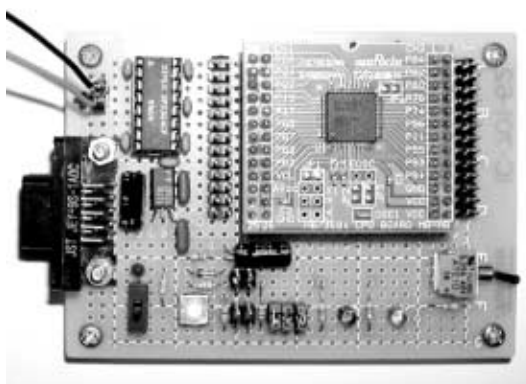


写真29 汎用ボードで組んだ3694対応ベースボード

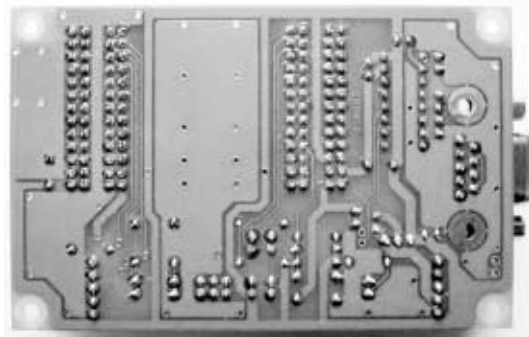
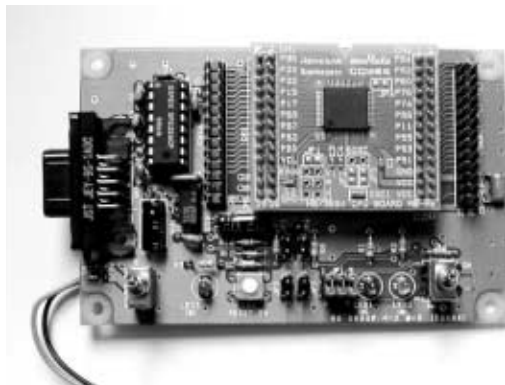


写真30 プリント基板による3694対応ベースボード

